

「子宮頸がん大学連携セミナー」開催報告

子宮頸がんは、近年、20代～30代の若い女性に増えていますが、この世代の方が、子宮頸がんに関する正しい知識を持つ機会が少ないのが現状です。

そこで、愛知県では、大学生の皆さんに正しい知識を持っていただくため、平成26年度から、大学と連携し、セミナーを開催する取組を始めました。

令和元年度は名古屋文理大学において、下記のとおり実施しました。

記

開催日時 令和元年7月8日（月）午前10時40分～午後0時10分（2時限目）
午後1時00分～午後2時30分（3時限目）

開催場所 名古屋文理大学 北館2階 N201教室

主 催 愛知県・名古屋文理大学

参加者 上記大学の学生、教職員等 69名

開催内容

講演「がんは予防できると思いますか？」

愛知県がんセンター研究所 がん予防医療研究領域

がん情報・対策研究分野長 伊藤 秀美 先生



伊藤先生の講演では、まず、がんができる仕組み、原因等の基礎知識やがんの予防について教えていただきました。そのうえで、子宮頸がんの主な発生原因は、性交渉によるHPV（ヒトパピローマウイルス）感染であり、誰でも罹る可能性のある身近な病気であること、早期発見にはがん検診が有効であること、子宮頸がん検診の内容等、幅広い知識を分かりやすく教えていただきました。現在は、多くのがんが早期発見することで治すことができるようになってきているので、若いうちからがん検診を受けてがん予防に

努めましょうというメッセージが伝わりました。

＜参加者アンケートより＞

* 子宮頸がんや乳がんは若い人がなりやすいことを初めて知り、いまのうちから予防することや生活習慣を見直すことが大切だと思いました。子宮頸がん検診も受けようと思いました。

* 性交渉の経験のある女性は、感染していたが自然治癒している可能性があることを知った。日本では、性の話を避けがちだが、高校生ぐらいからリスクや予防法を教えるべきだと思う。

⇒子宮頸がんに関するアンケートでは、このセミナーに参加するまで、参加者の46%の方が「子宮頸がんの主な発生原因がHPV感染であること」をご存知なく、61%の方が「子宮頸がん検診が20歳から推奨されていること」をご存知ない、という結果でした。愛知県では、今後も、このようなセミナーを実施し、若い世代の方に、正しい知識を持っていただく機会を増やしていきたいと思っております。